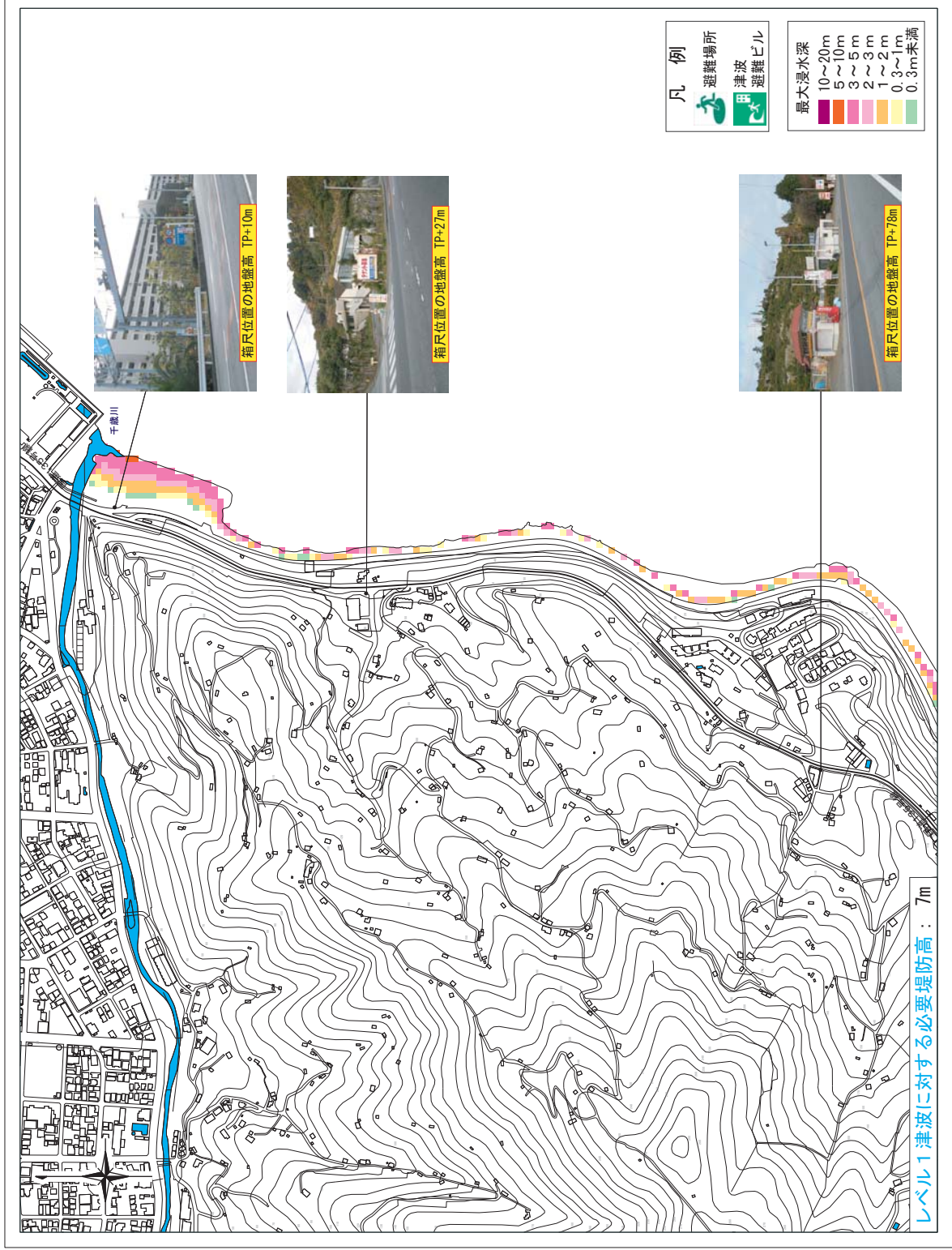


泉地区 地区協議会用参考図

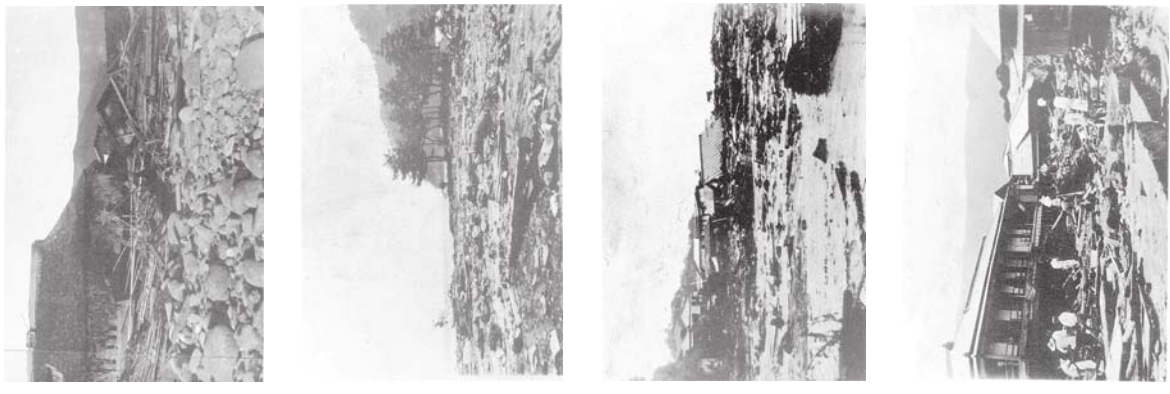


大正型関東地震（レベル1）最大浸水深図（m）

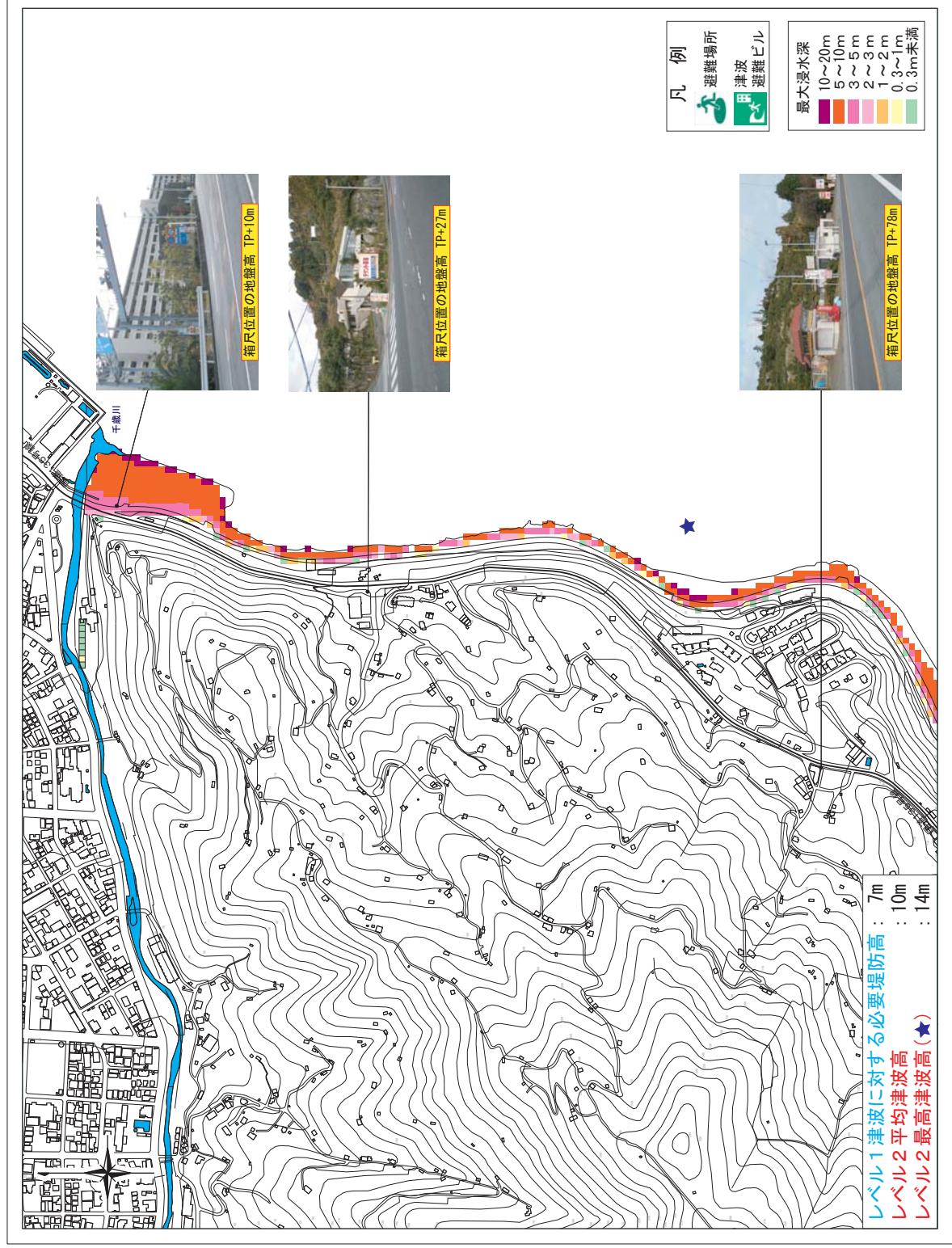
レベル1津波の平均発生頻度は200~400年と推定。

この地図は、県で作成した浸水想定区域図と国土地理院の基礎地図情報を重ね合わせた参考図です。
この地図の作成に当たっては、国土地理院基の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用しました。（承認番号 平26情使 第861号）

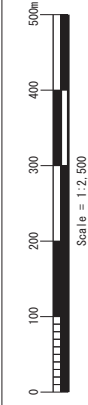
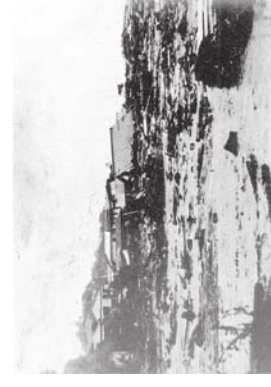
関東大震災被災状況



泉地区 地区協議会用参考図

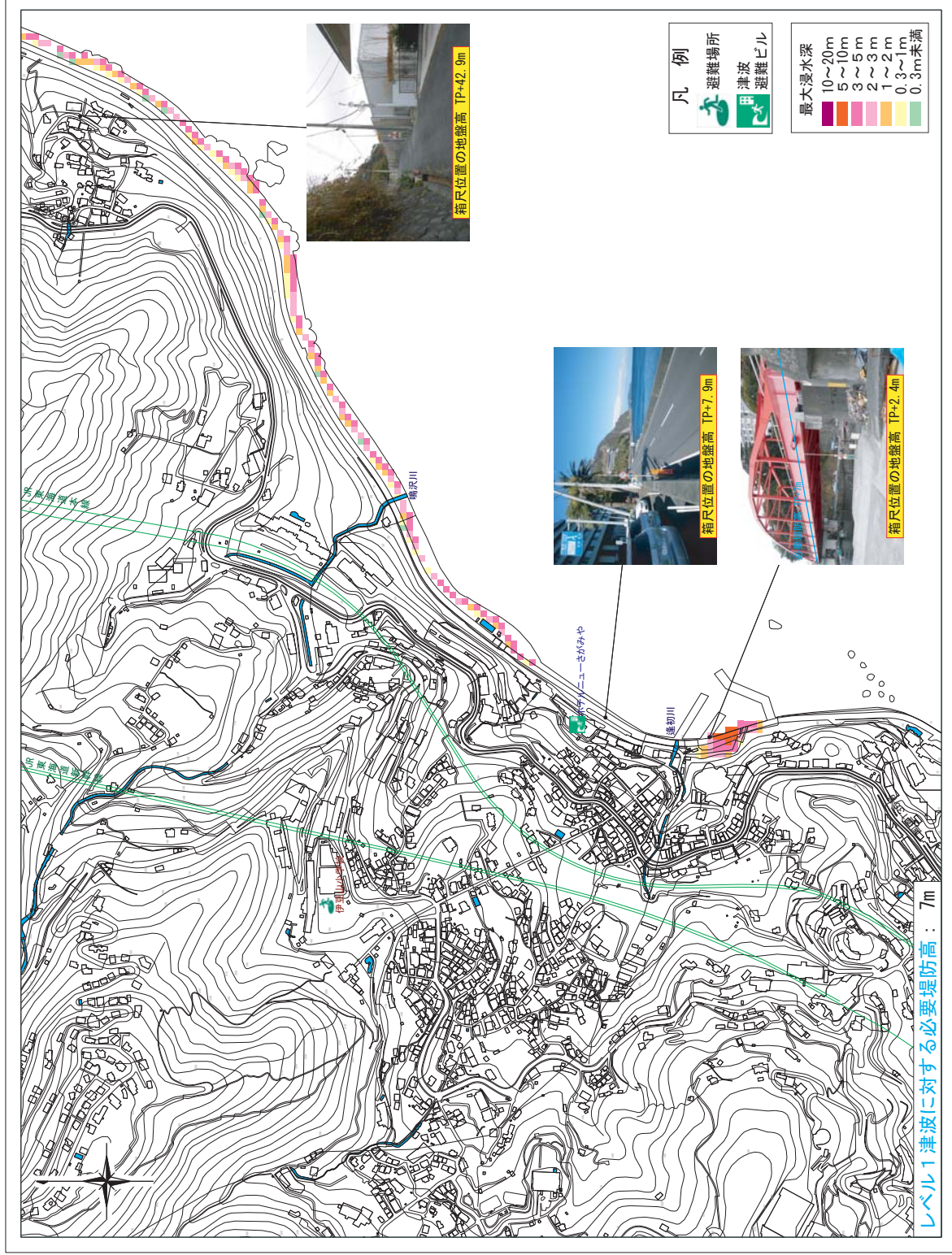


関東大震災被災状況

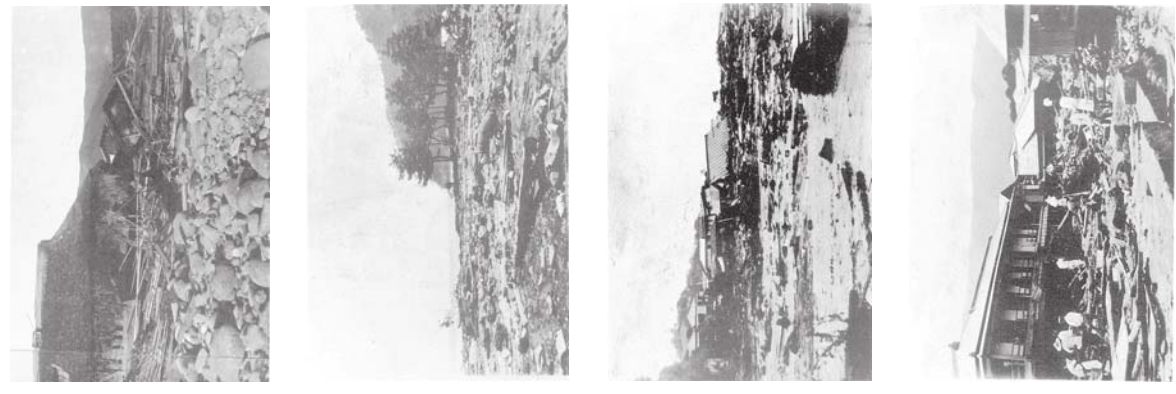


この地図は、県で作成した浸水想定区域図と国土地理院の基礎地図情報を重ね合わせた参考図です。
 この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用しました。（承認番号 平26情使 第861号）

伊豆山地区 地区協議会用参考図



関東大震災被災状況

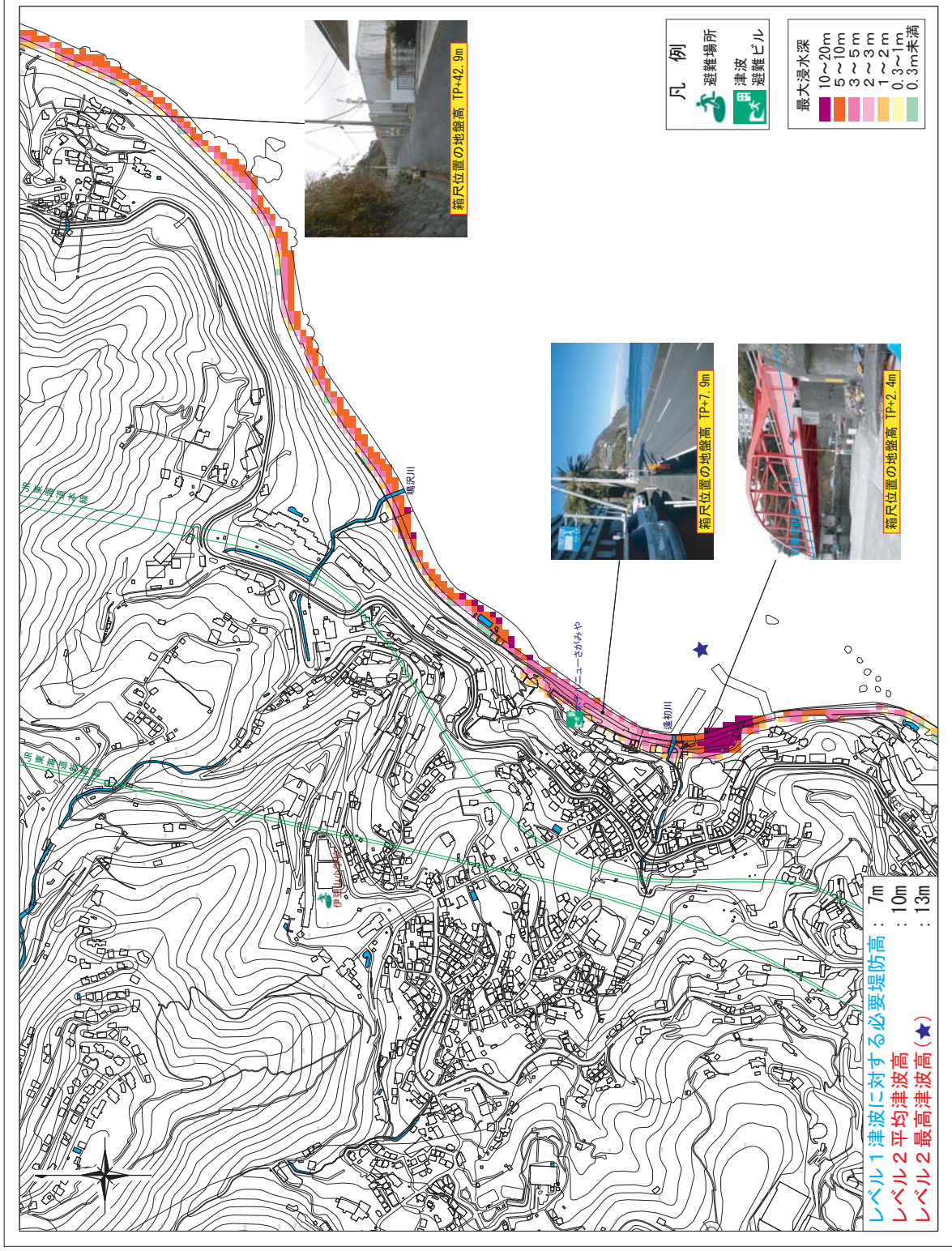


大正型関東地震（レベル1）最大浸水深図（m）

レベル1津波の平均発生頻度は200~400年と推定。

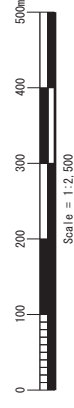
この地図は、県で作成した浸水想定区域図と国土地理院の基礎地図情報を重ね合わせた参考図です。この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用しました。（承認番号 平26情使 第861号）

伊豆山地区 地区協議会 参考図

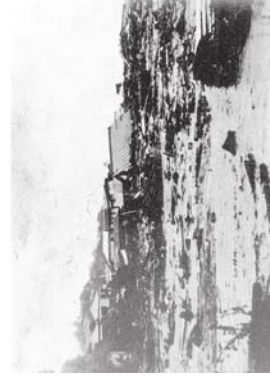


相模トラフ沿いの最大クラスの地震（レベル2）最大浸水深図（m）

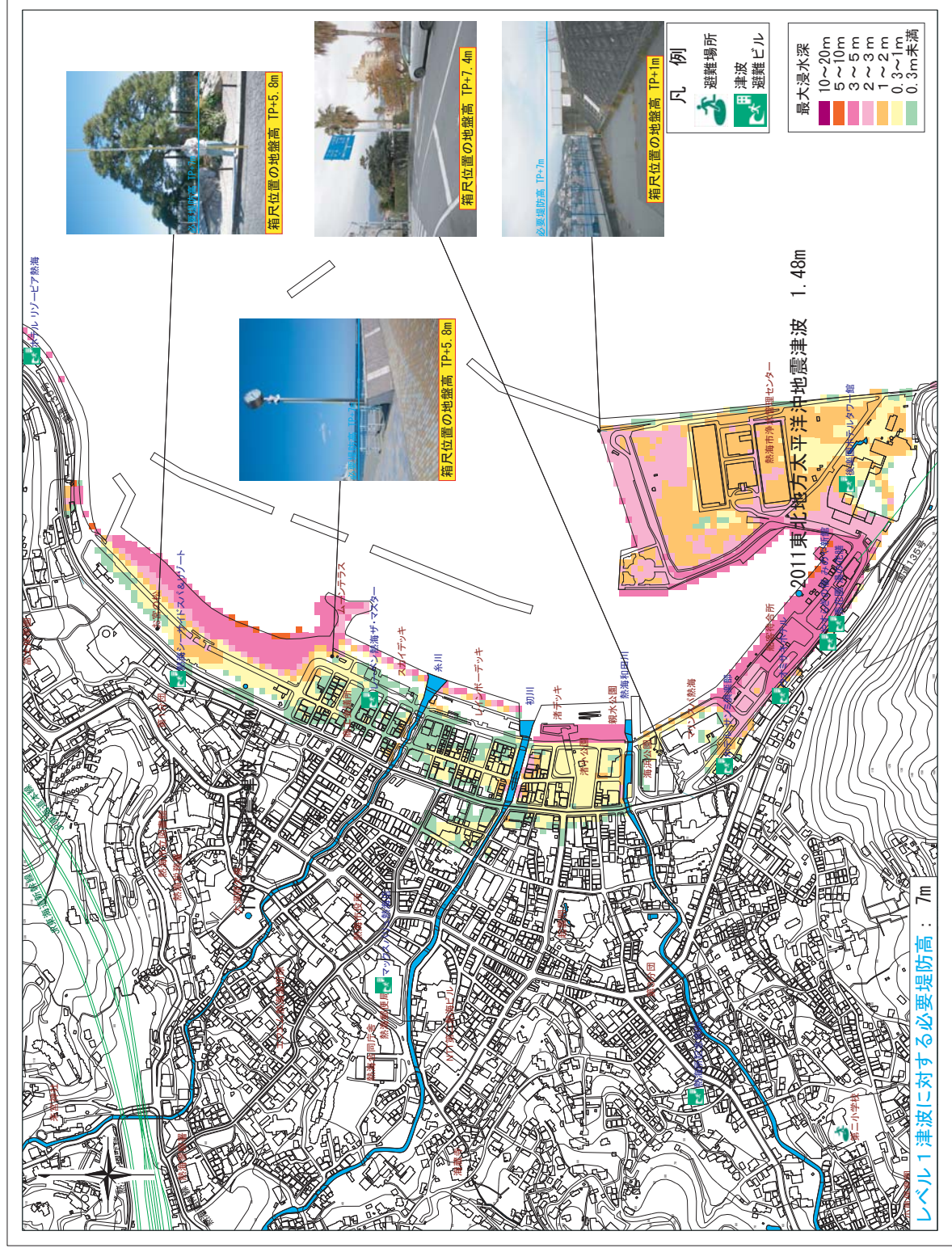
レベル2津波の平均発生頻度は2千年から3千年と推定。
 この地図は、県で作成した海水想定区域図と国土地理院の基礎地図情報を重ね合わせた参考図です。
 この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用しました。（承認番号 平26情使 第861号）



関東大震災被災状況



熱海地区 地区協議会用参考図



大正型関東地震（レベル1）最大浸水深図（m）

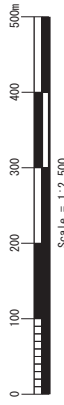
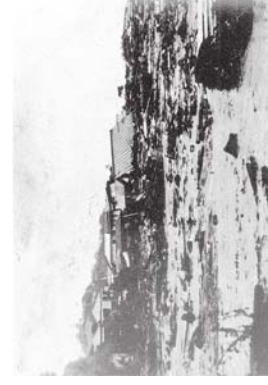
レベル1津波の平均発生頻度は200~400年と推定。

過去の津波の典拠：津波変動データベース（東北大学・原子力規制庁）

この地図は、県で作成した浸水想定区域図と国土地理院の基礎地図情報を重ね合わせた参考図です。

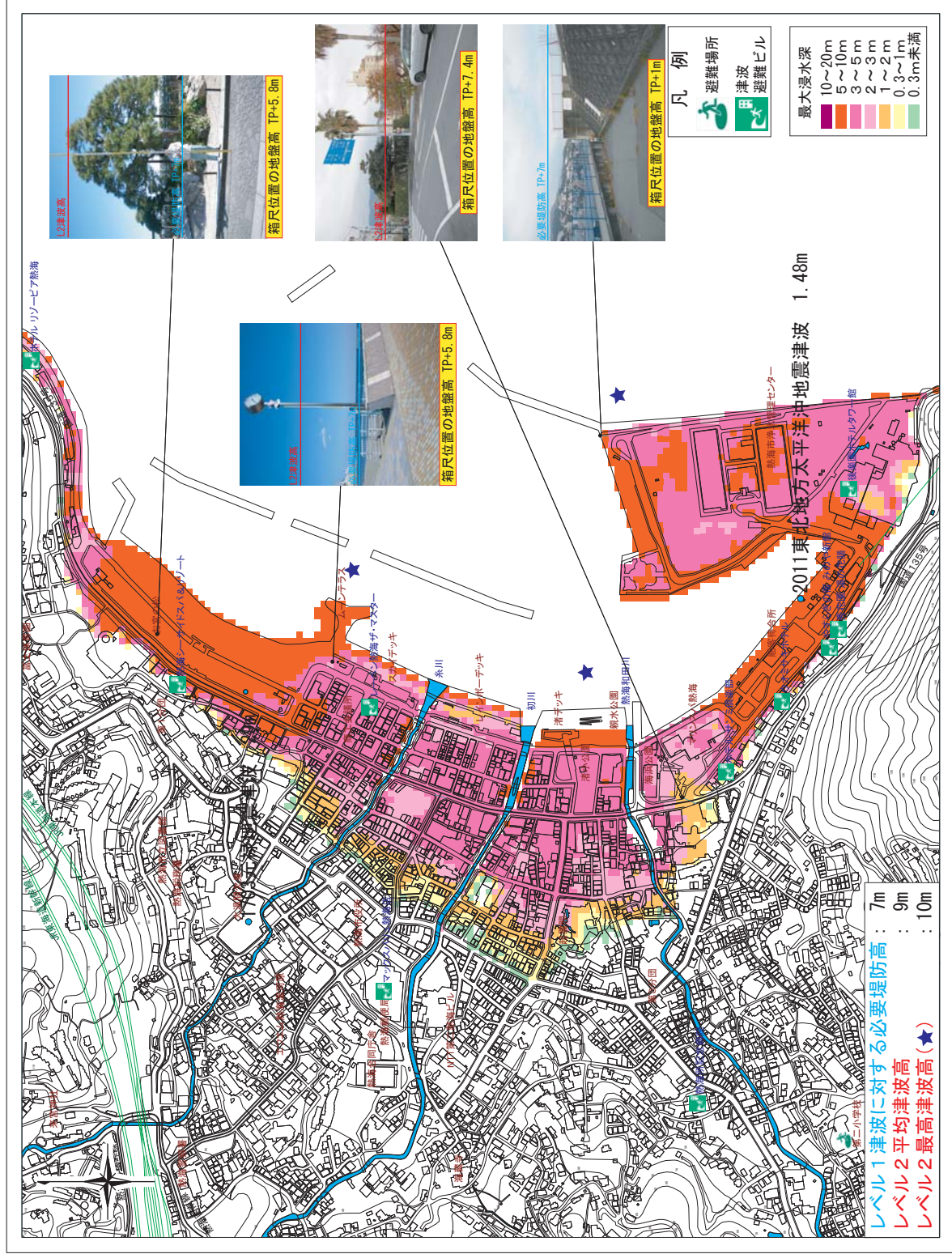
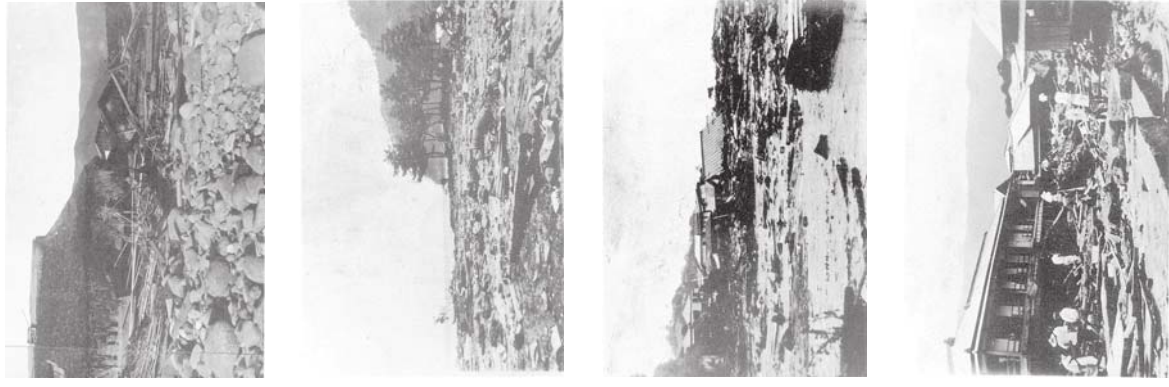
この地図の作成に当たっては、国土地理院基の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用しました。（承認番号 平26情使 第861号）

関東大震災被災状況



熱海地区 地区協議会参考図

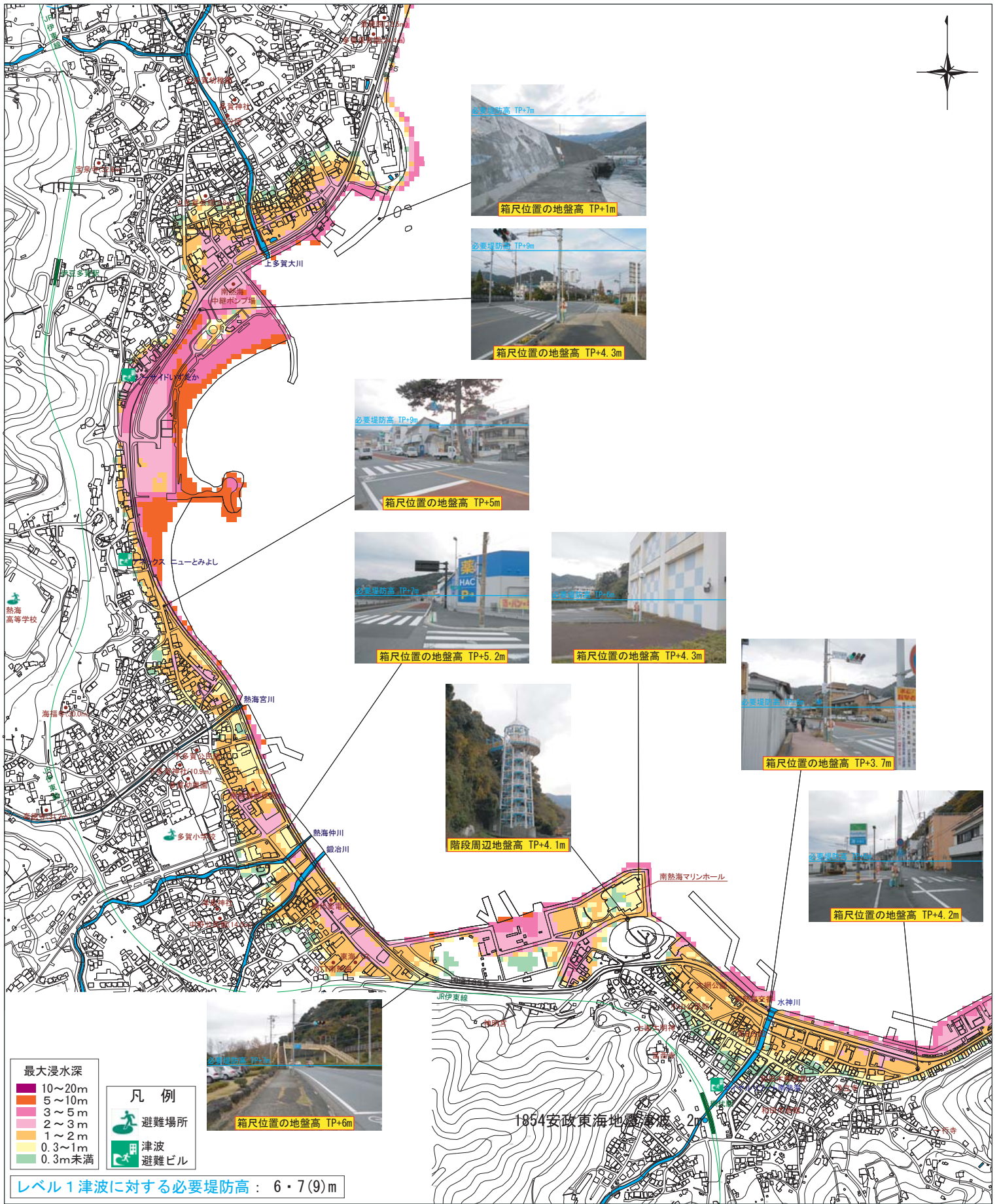
関東大震災被災状況



相模トラフ沿いの最大クラスの地震（レベル2）最大浸水深図（m）

レベル2津波の平均発生頻度は2千年から3千年と推定。
 過去の津波の典拠：津波痕跡データベース（東北大学・原子力規制庁）
 この地図は、県で作成した浸水想定区域図と国土地理院の基礎地図情報を重ね合わせた参考図です。
 この地図の作成に当たっては、国土地理院基の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用しました。（承認番号 平26情使 第861号）

多賀地区 地区協議会用参考図



大正型関東地震（レベル1）最大浸水深図（m）

レベル1津波の平均発生頻度は200~400年と推定。

レベル1津波に対する必要堤防高の()は地域海岸内に港湾や漁港等の防波堤等が存在することによる減衰効果や隅角部等での津波の収斂により津波高の変化が確認できるために細分して設定した区間のレベル1津波に対する必要堤防高です。

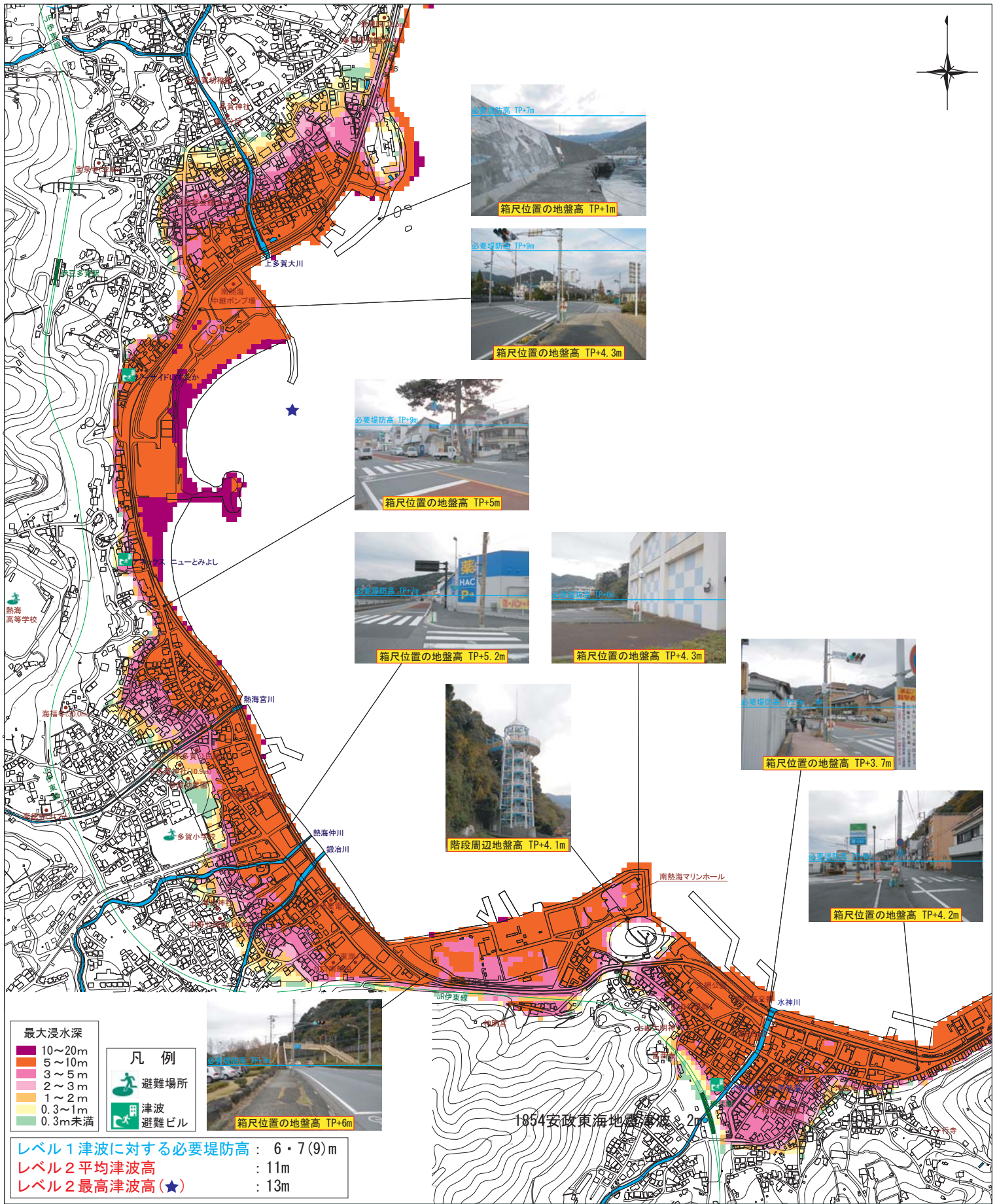
この地図は、県で作成した浸水想定区域図と国土院の基礎地図情報を重ね合わせた参考図です。

この地図の作成に当たっては、国土院院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用しました。（承認番号 平26情使 第861号）



Scale = 1:2,500

多賀地区 地区協議会用参考図



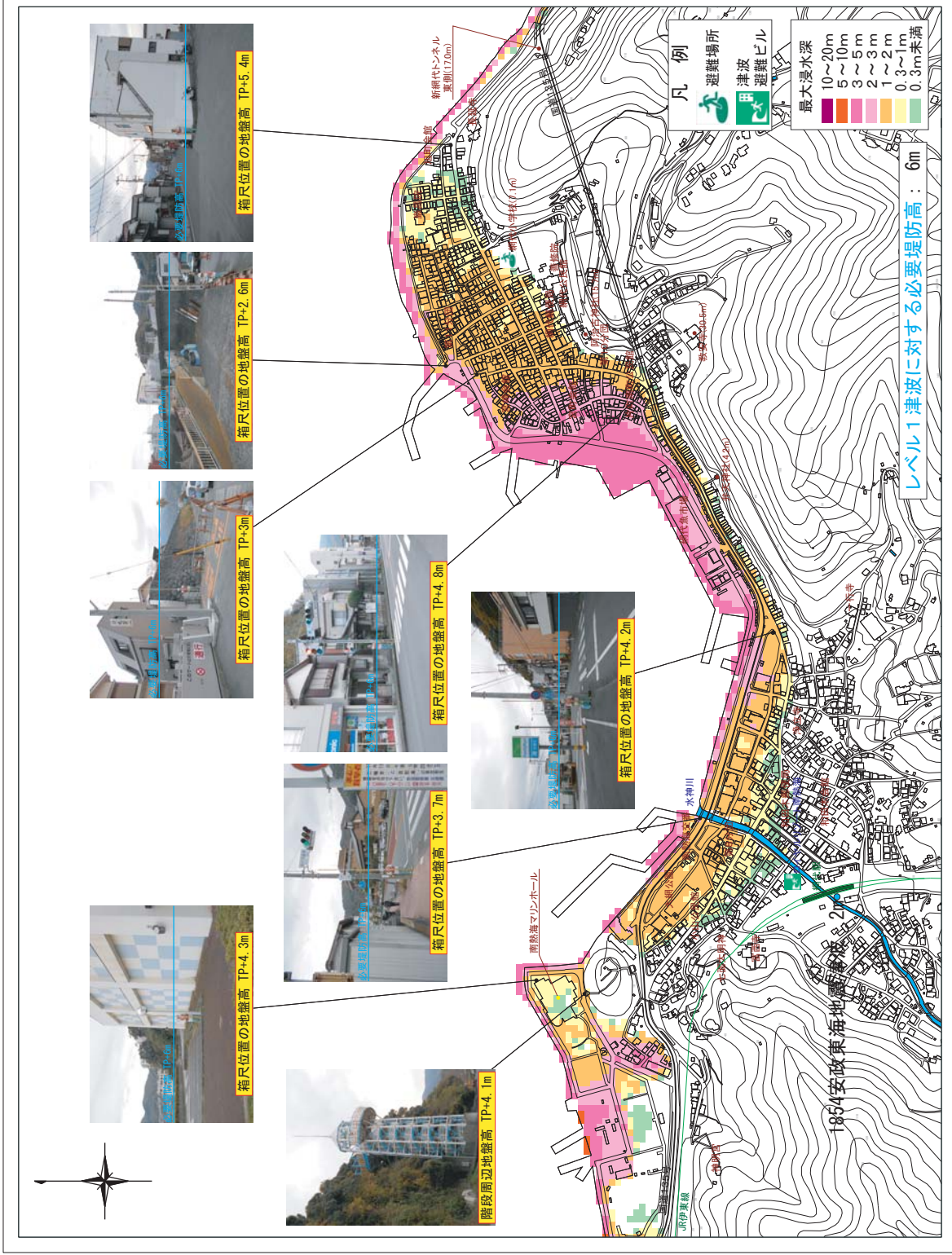
相模トラフ沿いの最大クラスの地震（レベル2）最大浸水深図（m）

レベル2津波の平均発生頻度は2千年から3千年と推定。
 レベル1津波に対する必要堤防高の()は地域海岸内に港湾や漁港等の防波堤等が存在することによる減衰効果や隅角部等での津波の収斂により津波高の変化が確認できるために細分して設定した区間のレベル1津波に対する必要堤防高です。

この地図は、県で作成した浸水想定区域図と国土理院の基盤地図情報を重ね合わせた参考図です。

この地図の作成に当たっては、国土理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用しました。（承認番号 平26情使 第861号）

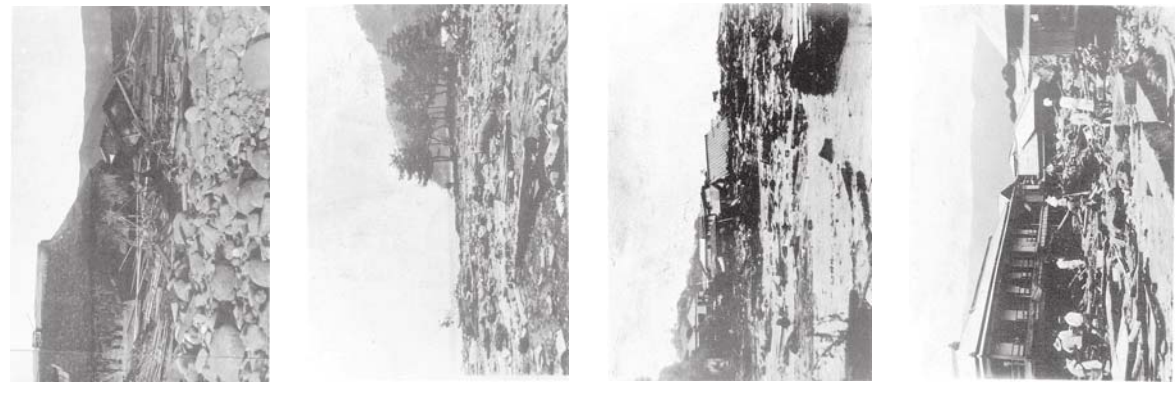
網代地区 地区協議会 参考図



大正型関東地震（レベル1）最大浸水深図（m）

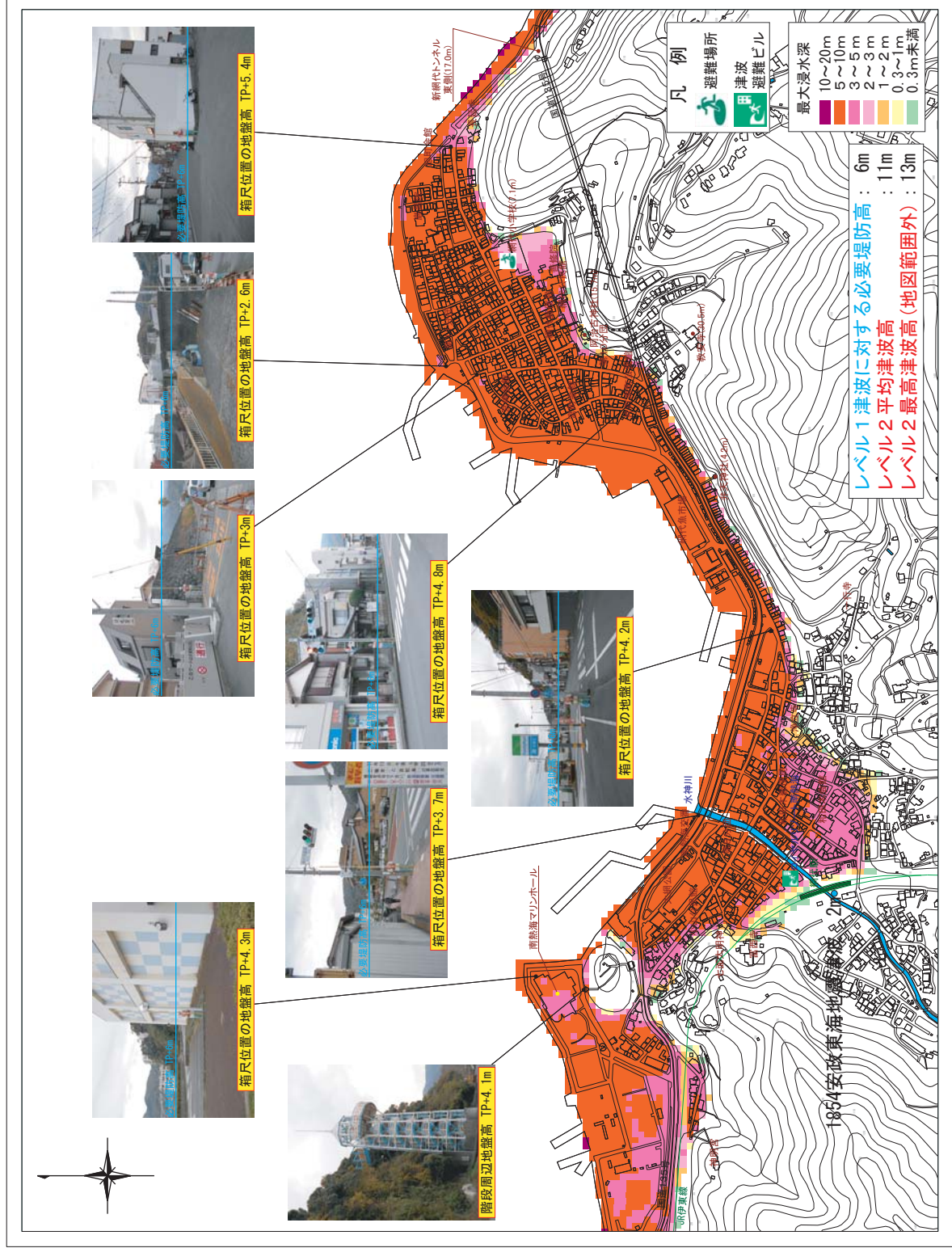
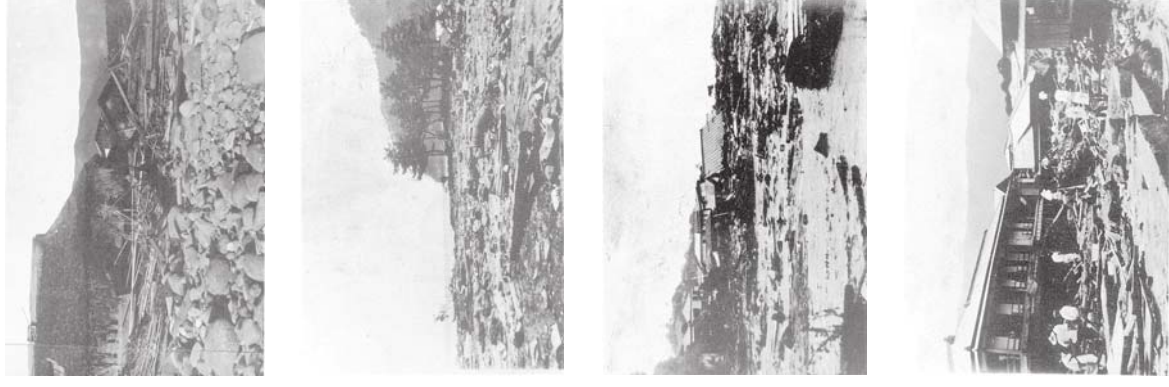
レベル1津波の平均発生頻度は200~400年と推定。
過去の津波の出版：津波痕跡データベース（東北大学・原子力規制庁）
この地図は、県で作成した浸水想定区域図と国土地理院の基礎地図情報を重ね合わせた参考図です。
この地図の作成に当たっては、国土地理院基の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用しました。（承認番号 平26情使 第861号）

関東大震災被災状況



網代地区 地区協議会 参考図

関東大震災被災状況



相模トラフ沿いの最大クラスの地震 (レベル2) 最大浸水深図 (m)

レベル2津波の平均発生頻度は2千年から3千年と推定。

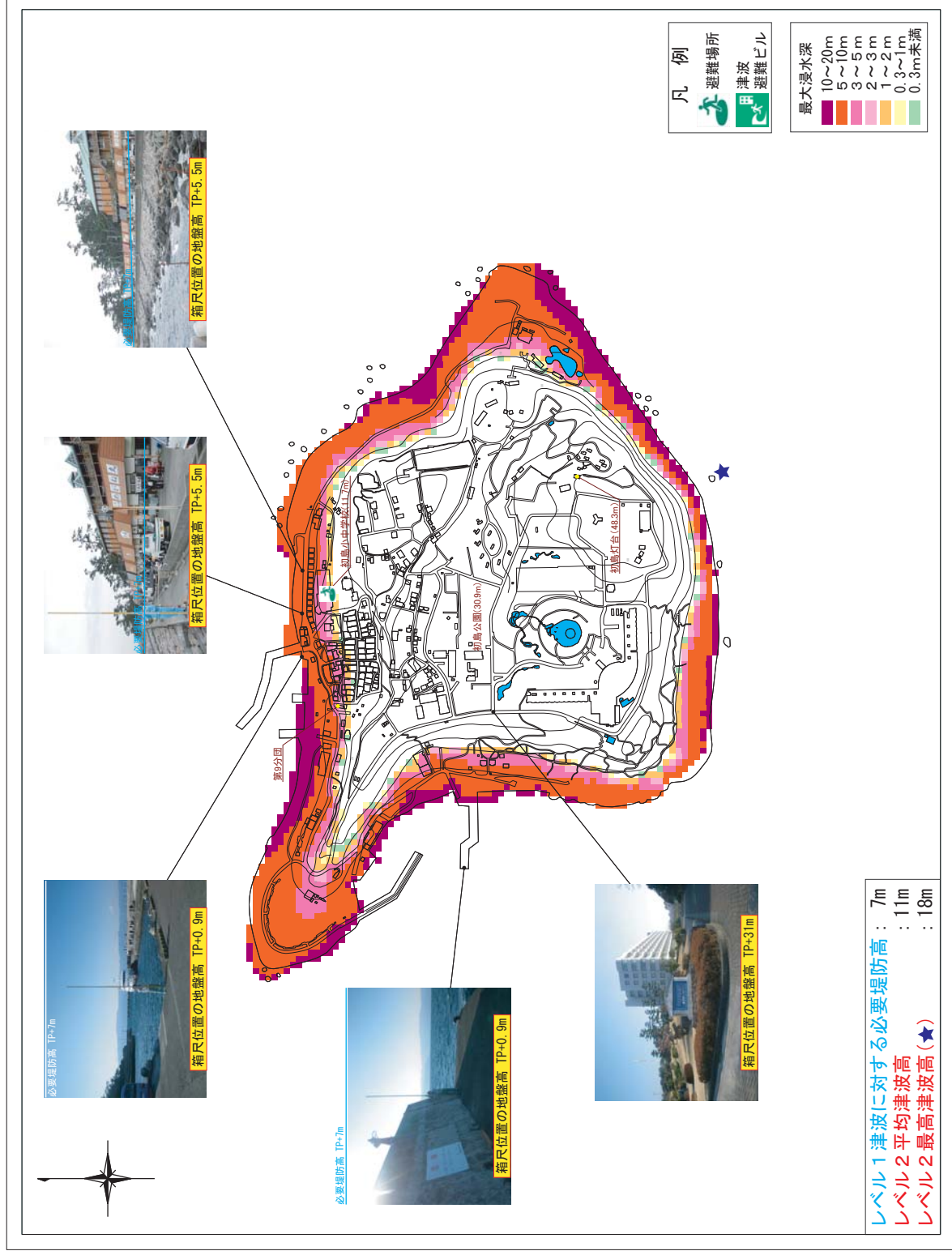
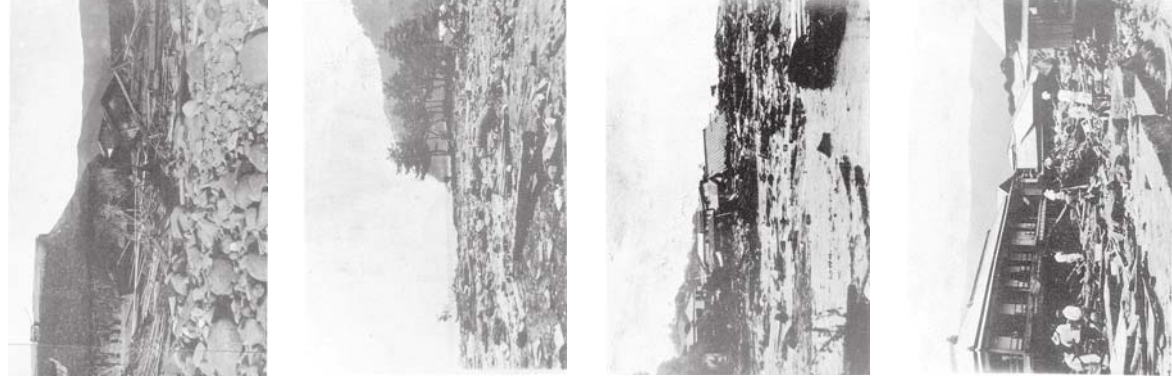
レベル2津波の起源: 津波痕跡データベース (東北大学・原子力規制庁)

この地図は、県で作成した海水想定区域図と国土地理院の基礎地図情報重ね合わせた参考図です。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用しました。(承認番号 平26情使 第861号)

初島地区 地区協議会 参考図

関東大震災被災状況



相模トラフ沿いの最大クラスの地震（レベル2）最大浸水深図（m）

レベル2津波の平均発生頻度は千年から3千年と推定。
 この地図は、県で作成した浸水想定区域図と国土地理院の基礎地図情報を重ね合わせた参考図です。
 この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用しました。（承認番号 平26情使 第361号）